

# 吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1  
TEL (06) 63883-2211  
FAX (06) 63882-8160  
http://www.suita-minsyou.com  
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の  
昼2時・夜7時  
なんでも相談会

## 4月の経営交流会・お店工場訪問

### 村上縫製所 村上 一郎さん

村上さんは両親から「真面目に働き、手に職をつければ、職に迷うことはない。」と言われ育ちました。縫製の工場で働き、奥さんと社内結婚。丹波の新工場の工場長にも抜てきされ、家族と一緒に丹波に赴任します。村上さんは、同僚や部下との信頼を大切にしていました。最初の会社では、同僚から給与の未払いのことで相談を受けて社長に談判し、丹波の工場長の頃には、部下が工場食堂の昼食改善を求めてストライキを起こしますが、それも社長と相談して要求を実現しました。



独立当初は大東市で小さな工場から始めて、東淀川区に工場兼自宅を購入し、規模を大きくします。その時に民商へ入会しました。さらに規模を大きくし工場兼自宅を買換え、従業員も5人雇っていました。ところが新しい工場を買ってから2年目の時に税務調査が発生します。年末の忙しい時に署員から連絡が入り、「勝手にせえ！」と言ったことで更正決定に。2年をかけて不服審査請求を行ない、要求が通りました。その時に民商や組織、仲間の大切さを実感し、民商活動を始めようと家族と相談。楽しみにしていた賭け事を一切やめることを条件としました。

順調だった仕事ですが、介護が必要となった父親を引き取ることになりました。介護と仕事が両立できる新しい工場兼自宅が必要となり、福祉がよい吹田に転居します。しかしバブル崩壊が重なり仕事が減少。廃業を考慮することになります。その窮地から脱するきっかけになったのが、丹波工場です。その同僚は会社社長と結婚し、その社長が仕事をし出すから続けるように勧められました。父親の介護は民商活動からつながった淀川医療生協から相川病院を紹介されて入院できるようになり、仕事を続けられるようになりました。村上さんは「親から言われてきた『手に職をつける』『真面目に働け』を貫いてきた。最後は人のつながりがあれば何でもできる」と報告を締めくくりました。

村上さんの報告は、築いてきた仲間との信頼がいざという時にどれだけ大切か実感できる内容でした。実際にミシンを踏むところも実演。普段は民商活動で一心不乱の村上さんのミシン捌きには、参加者も感嘆の声を上げていました。村上さんは「普通に生きてきたと思う。悔いはない、よくやってきました。とは思いますが、これからの日本や吹田がどう変わるのか見るために長生きしたい。」とまとめを行いました。

## 4月の相談活動から

### 換価の猶予、納税の猶予、先日付小切手

4月の税金や保険料の分納相談会には3名が参加しました。1名は「納税の猶予」申請を予定していましたが書類不備で出直しとなり、1名は換価の猶予の要望書を提出しました。3人目の方は、多額の国税や住民税、社会保険料が滞っています。自分だけで関係機関に相談したものの不安になって民商に相談に來られました。事務局ではまず、本人の事情をお聴きするとともに、本人の認識と事実が合致しているか把握する必要があると税務署と年金機構に向きました。滞納額を正確に把握するとともに納付経過も聴き取りました。年金事務所では職員の希望を受けて提出していた先日付小切手を返してもらいました。これには事前に職員に渡していた商工新聞の記事が大変役に立ちました。まだ全体像が把握できないため、5月半ばまで時間を計画を立てること②これ以上、税金や保険料の累積を招かない対策をたてることを中心に実態把握に努めています。

### 専門任せではなく自らが全体の把握を

最近融資相談が増加傾向にあります。会外からの相談も増えています。4月には4名の法人企業から相談を受けました。共通しているのは、仕事の内容は答えられても4名とも申告内容には答えられなかったことです。全て税理士さんに「任せている」と言う返事でした。これでは貸す方からすると大変不安になります。そのため、事務局としては、自分の会社を自分が正確に把握することから相談をスタートさせることになりました。多くの時間を要します。日常的な記帳は確定申告だけではなく、まずは経営のために活用しましょう。税理士さんから経営や資金繰りのアドバイスも受けていきましよう。大切な部分を人任せにすると、肝心なときに自分がこまることになります。

## 共済会が

### 健康診断の援助金を拡大しました

共済会は今まで健康診断の際に実費負担がある場合は1000円の援助金を出していましたが、それを今年度から試験的に拡充します。この機会に共済会に加入して、健康診断を積極的に受診しましょう。

- ① **4030歳未満**は受診者に一律2000円の援助を行います。
- ② **4030歳未満**はオプシオン費用がある場合は、2000円を上限に援助を行います。
- ③ **40歳以上**はオプシオン費用が

4000円未満の場合は1000円を援助します。  
4000円以上の場合は2000円を援助します。

吹田民商は相川診療所と協力して健康診断の受診運動を推進しています。他の医療機関を利用されている場合は領収書の写しを提出してください。

お買い物は地元市場商店街で、商工業者の繁栄は市民と市民と！